

『自動車整備士 2 級ガソリン 回数別問題と解説 平成 29 年版』

お詫びと訂正のご案内

『自動車整備士 2 級ガソリン 回数別問題と解説 平成 29 年版』をご購入頂きまして、誠にありがとうございます。
 本書の内容に誤りがございました。この度はご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。

訂正してお詫び致します。

頁数	内容	
124ページ ■平成27年10月 解説&解答 【24】	誤	解説 1. ホールICを用いたトルク・センサは、 <u>インプット・シャフトに多極マグネットを配置し、アウトプット・シャフトにヨークが配置されている。</u>
	正	解説 3. ホールICを用いたトルク・センサは、 <u>インプット・シャフトに多極マグネットを配置し、アウトプット・シャフトにヨークが配置されている。</u>
125ページ ■平成27年10月 解説&解答 【29】	誤	【29】 [解答-1] 解説 1. 外部診断器から消去作業を行うと、 <u>ダイアグノーシス・コードとフリーズ・フレーム・データのみが消去されるため、二次的な時計やラジオの再設定は必要ない。</u>
	正	【29】 [解答-3] 解説 3. 外部診断器から消去作業を行うと、 <u>ダイアグノーシス・コードとフリーズ・フレーム・データのみが消去されるため、二次的な時計やラジオの再設定は必要ない。</u>
309・310ページ ■平成24年10月解説&解答 【21】	誤	解説 1. 設問の内容は、 <u>キング・ピン傾角</u> 。セッット・バック角は、ホイール中心位置が進行方向に対して前後方向にずれることで生じる左右のタイヤ中心を結んだ線とスラスト・ラインに直交する線とでなす角度をいう。 (イラスト省略) 2. キャスタ・トレールを長くすると、 <u>復元力が大きくなる反面、ステアリング・ホイールの操舵力が重くなったり、ステアリング・ホイールの戻り速度が速くなりすぎる</u> などして、操舵感の悪化を招く。 4. フロント・ホイールを横方向から見て、 <u>キング・ピン頂部が進行方向に対して後方に傾いているものを、プラス・キャスタ</u> という。マイナス・キャスタは、キング・ピン頂部が進行方向に対して前方に傾斜している場合をいう。 (イラスト省略)
	正	解説 1. キャスタ・トレールを長くすると、 <u>復元力が大きくなる反面、ステアリング・ホイールの操舵力が重くなったり、ステアリング・ホイールの戻り速度が速くなりすぎる</u> などして、操舵感の悪化を招く。 2. フロント・ホイールを横方向から見て、 <u>キング・ピン頂部が進行方向に対して後方に傾いているものを、プラス・キャスタ</u> という。マイナス・キャスタは、キング・ピン頂部が進行方向に対して前方に傾斜している場合をいう。 (イラスト省略) 4. 設問の内容は、 <u>キング・ピン傾角</u> 。セッット・バック角は、ホイール中心位置が進行方向に対して前後方向にずれることで生じる左右のタイヤ中心を結んだ線とスラスト・ラインに直交する線とでなす角度をいう。 (イラスト省略)